

日本組織培養学会

会員通信
第 4 号

発行責任者

佐藤 二郎

喜多村 勇

岡山市岡 164

岡山大学医学部 癌源病理

②7151

小児科

昭和41年6月25日発行

☑ 日本組織培養学会第21回研究会は

1966年5月14、15日 福岡市民会館小ホールで盛会をもつて終つた。世話人高木の御苦勞で参会者も多数、例によつて活潑な討議が会期中続いた。

☑ 次期第22回研究会は

開催地 東京 時期 11月中旬予定

世話人 中沢恒幸

シンポジウム 疾患と組織培養

(座長 喜多村 勇)

☑ シンポジウム「疾患と組織培養」について

培養された細胞についての詳細な研究は、高く集積されて来たが、此の辺りで一度立ち戻つて病氣と組織培養との関連が、何処迄探められる可能性があるか、現時点で確かめて見ようと云うのが幹事会での決定であつた。組織培養を専門としている者にとつては、或ひは漠然とした又は手の届きにくい題と云へるかも知れぬが、臨床医にとつては、重要な課題であり、之を契機に、培養の専門的討論の場で、疾患を検討し得る好機と云へるだらうし、逆に培養学会の中にも新しい幾つかのテーマが目芽える可能性があるかと期待している。

具体的には(1)患者材料の組織培養細胞に、疾患の特異性を保持し得る可能性に就いて。

(2) *in vitro*で、生体内疾病類型をつくり得る可能性に就いて。 (3)組織培養法を用いての診断、等が考えられる。そして今回は、出来得る限り、癌以外の諸疾患について広く演題を募集したいので、会員以外の研究者で該当する研究をしている人々をも座長迄紹介下さい。

喜多村 勇 岡山市岡 164

岡山大学医学部 小児科 ②7151 内372

☑ 第21回関西組織培養談話会お知らせ

日時 7月2日(土)午後2時

場所 京都大学医学部図書館三階会議室

演題 1)放射線感受性と細胞相互作用

青山 喬, 河本良夫, 近藤光雄 (神戸大 成長研)

2)哺乳動物細胞における異数性について

菅原 努 (京都府大, 医, 放基医)

世話人 堀川正克 (京大医, 放基医)

☑ 40年度会計報告 (昭和40年4月1日——41年3月31日)

収入	前年度繰越	110,476
	賛助会費	275,000
	一般会費	74,000
	文部省補助	100,000
	雑収入	1,555

561,031

支出	ビブリオグラフィー	310,000
	会員名簿整理	37,056
	会員通信	2,000
	連絡, 郵送費, その他	41,437
		<hr/>
		391,493
残	高	169,538

Tissue Culture studies in japan, The annual Bibliography
1965の出版に就いて。

原稿送付その他問合せは

大阪府豊中市北刀根山字北谷

大阪大学理学部生物学教室 黒田行昭

(TEL 池田0727(6)1381~5 内線467)

メ切 昭和41年6月30日必着

お祈り。

会員通信第3号中、株登録受附規準の1、「6ヶ月以上、及び20代以上、継代した細胞であること」とあるのは、その後、「1年以上、及び50代以上継代した細胞であること」に変更されていますので御訂正下さい。

Hayflick等が、人肺細胞をDiploidの状態で6ヶ月以上1年未満保ち、その後継代不能に陥つたことを報告したことによる。

海外出張

山根績 6月から数ヶ月

米国における癌、組織培養研究の視察及び講演。

勝田甫 7月10日 - 9月19日

米、加両国各地の培養室視察及び講演。

DR. R. P. Sherwin (Univ. South Calif., Dept. Path)が、日本の組織培養専門家で、肺癌の培養に興味をもっている人を探して居ります。希望者は、伝研、勝間甫迄連絡下さい。

電話番号変更

新

旧

信州大 0263-(4)-3-4600

0263-3-4600

遺伝研(三島) (75) 0771

電話番号変更をお知らせ下さい。

個人通信送付下さい。